

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（令和2年度採択）

中間評価結果（公表用／ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
2020-6	走行中の電気自動車に連続的に無線給電を行う道路の実用化システムの開発	大成建設 新藤 竹文	A
<p><研究の概要></p> <p>本研究では、高効率で汎用性に優れた無線給電を行う道路システムを実現するために、電界結合方式無線給電技術における給電効率や電気自動車への給電制御、舗装の強度や耐久性、修復・更新方法などの実用化技術を開発する。</p> <p><中間評価結果></p> <p>研究計画・研究体制のいずれも特に問題点は無く、実証実験に基づき技術の改善を行うことにより完成度の向上が期待できるため、現行の通り推進することが妥当であると評価する。</p> <p><参考意見></p> <ul style="list-style-type: none"> 合理的な舗装構造の立案と各種性能(耐荷性、耐久性、走行性など)の確認を行い、実用に近い形で無線給電道路の施工を実施していただきたい。 舗装構造設計の面で、多層弾性理論が適用できる条件などの再確認が必要である。 社会実装を見据えて経済性や維持管理性の評価を行っていただきたい。 			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第45回新道路技術会議において審議したものである。